



素山  


白鳥の目也

鶴毛の如き家

田子河を流す

一九

管やあるを

くも 龍池

糸丸

風けり梅を

其の白の浦を

竹丸

たふはるるあらく  
 昔たる柳うねり我

客つ終て獨活

坂ふゆはけり

茶屋

竹苞

癸亥年

